

12月度 ^(例会) 山行報告書		報告者	報告者	参加 メンバー	CL:後藤 SL:小田 津田、吉田(有)、根芝
個人		報告日	03/10		
山 域	*****	山行日	15年 12月 12日 (土) ~		
山 名	西穂高岳周辺		15年 12月 13日 (日)		
山行目的	全豊田 雪上訓練		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集
会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)



2.5 万分の 1 地図 :

12/12 晴れのち曇り

09:30 新穂高口出発
11:15 西穂山荘到着
12:30 西穂山荘出発
13:50 独標到着
15:00 西穂山荘到着

12/13 雪

07:10 西穂山荘出発
07:30 雪上訓練開始
08:30 雪上訓練中止
09:50 西穂山荘出発
11:00 荷物組 新穂高口
到着
11:40 けが人組 新穂高
口到着

〈山行報告〉

1 日目、西穂山荘付近で雪上訓練を行う予定だったが、晴天に恵まれ(かつ 2 日目の天候が良くなさそうだったのもあり)急遽独標を狙うことになった。初めての雪山ということもあり、訓練なしで独標まで登るのは不安ではあったが、ベテランの小田さんに見守られつつゆっくり慎重に進む。1 年前に買って寝かせたままだったアイゼンもやっとデビューさせてあげられた。しかし、想定外に雪がなく、アイゼンで踏みしめると石や岩にひっかかり、かなりヒヤヒヤした。やっと独標に着いたころには周囲はガスに覆われ、展望は叶わなかった。残念。西穂山荘のテン場に戻り、夕飯の支度をする頃になっても気温は下がらず、各山岳部が思い思いに外で調理をしていた。雪山らしさは味わえなかったが、テントに籠らずに済んだことで各社との交流が持てたことはよかった。

2 日目、西穂山荘付近に雪があまりなかったため、丸山付近に移動して雪上訓練を開始する。初めてピッケルを使って滑落停止の練習をした。なかなか難しい。しかし、いざという時にとっさに行えるようにならなければ。そうこうしている内に、斜面の下の方が急に騒がしくなった。織機の若手(初雪山)がけがをしたらしい。訓練を中止し、即席の背負子を作成して若手男性陣で新穂高口まで担ぎ下ろすことになった。事故は起こるべきではないが、これが訓練ではなく本当に厳しい雪山での行動中に起こっていたらと思うとぞっとした。

〈リーダー所見〉



独標にて

確認
(リーダー)

*

//**

*

作成
(報告者)

根

16/03/09

芝